お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。（火災・感電・落下の原因）	禁止	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。（火災・感電の原因）
	器具を布や紙などで覆わない。（可燃物をかぶせて使うと火災の原因）		

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。（火災・感電の原因）	禁止	光を直視しない（長時間直視すると目を痛める原因）
禁止	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。（過熱して火災の原因）	厳守	明るく安全にご使用いただくために半年に１回の保守・点検を行う。

●照明器具には寿命があります。設置して８～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。

●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
●３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
●点検せずに長期間使用し続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

器具の取扱い

■赤外線リモコン方式のテレビ・ラジオなどは、照明器具から離してご使用ください。（雑音が入ったり、正常に作動しない場合があります。）
■受信電波が弱い場合には、ＡＭおよび短波放送では雑音が入る場合があります。
■器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。
■放送設備などの音声信号や映像信号は微弱なため、電源線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。

器具の清掃　⚠警告　電源スイッチを切ってから行う（感電の原因）

＜器具のお手入れについて＞
器具の汚れは、柔らかい布をうすめた中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。
シンナー、ベンジン、みがき粉やたわし、熱湯、アルカリ性洗剤、薬品などは使用しないでください。
＜カバーのお手入れについて＞
カバーはキズつきやすいのでメガネ拭き等柔らかい布で拭いてください。

⚠注意
点灯中及び消灯直後の器具には触らない。（高温のためやけどの原因）

知っておいていただきたいこと

○点灯、消灯時にカバー、反射板の収縮・膨張により、きしみ音が発生する場合がありますが、異常ではありません。

保証について

■無償修理
照明器具の商品納入日より１年間、また照明器具に内蔵されているLED光源・電源ユニットは３年間です。

■無償提供
LED光源・電源ユニットの故障による不点灯不具合につきましては、代替商品またはLED光源・電源ユニットを５年間無償提供させていただきます。

※保証期間と保証内容についての詳細はカタログを参照ください。

お　願　い

● LEDにはバラツキがあるため、器具内の個々のLEDや同一形名の器具でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
● LED光源の交換はできません。交換の際は器具ごと交換ください。
●壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。ご了承ください。
●本器具は使用環境によって劣化が早まる場合がありますので、工事店等の専門家による定期的な点検、早めの部品交換をおすすめします。

異常時の処置

⚠警告
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源を切る。（火災・感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

三菱電機株式会社
連絡先 三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎(0467)41-2729（営業本部）
☎(0467)41-2773（品質保証部サービス課）

MITSUBISHI
三菱 LED 照明器具

E763Z206H22

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

保管用

低温室用防湿形器具

形名　**EL-LR4000N**　**AHN**　（使用温度範囲－ 40℃～＋ 35℃）

○この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また アフターサービスもできません。
○電源周波数50Hz、60Hz共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

取扱説明書

施工者さまへ

○施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	引火する危険のある雰囲気で使わない。（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない）（火災の原因）	禁止	器具取付けの際は電線を挟まない。（絶縁不良により感電・火災の原因）
			配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。（絶縁破壊により感電・火災の原因）
	傾斜天井や竿ぶち天井、補強のない天井には取付けない。天井面取付専用器具です。（指定方向以外の取付けは、火災・落下の原因）	厳守	施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程に従って行う。

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	高温（35℃を超える）、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所で使わない。（落下・感電・火災の原因）	禁止	表示された電源電圧以外では使わない。特に定格電圧の90%以下の電圧使用は、安定器の短寿命、故障となります。（火災・感電の原因）
	腐食性ガスの出る場所で使わない。（劣化による落下の原因）		狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。（器具が過熱して火災の原因）
	器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。（絶縁不良やさびにより感電・落下の原因）		調光用専用器具以外は調光させない。（器具が過熱して火災の原因）
	器具を密集して取付けない。（20cm以上離す）（器具の温度が高くなり火災の原因）		

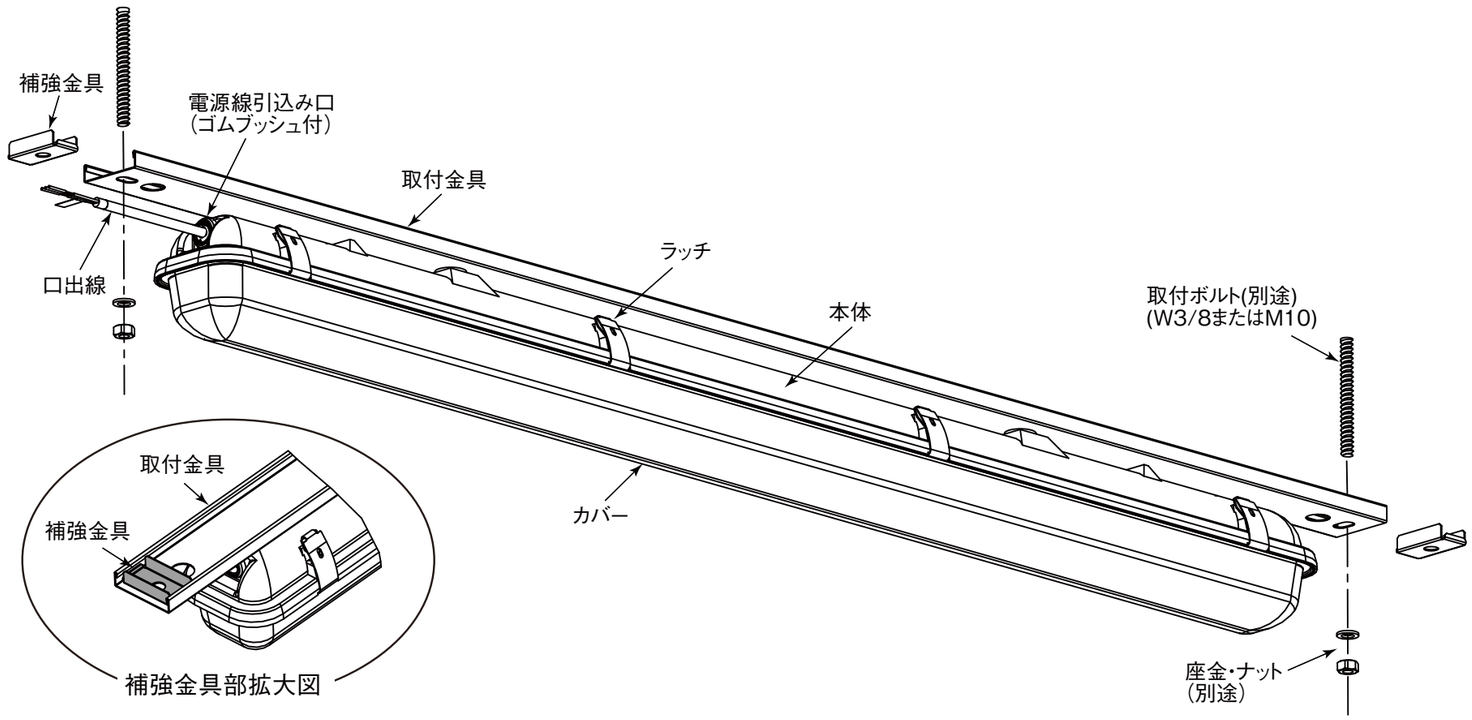
お　願　い

■周囲温度は－ 40℃～＋35℃の範囲でご使用ください。
■－ 40℃以下で使用しますと明滅、不点、短寿命の原因となります。
■器具に吹き出し口の冷風が直接当たらないよう設置してください。やむなく設置する場合は、器具より少し離してフードを設けてください。
■温泉地など、硫黄成分を含む腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。光学特性等に不具合が発生することがあります。
■商品監視システム（防犯センサー）の一部の機器は電源ユニットの周波数と干渉して誤作動する場合がありますので、事前に商品監視システムのメーカーにご確認ください。
■油煙のある場所では使わないでください。（光学特性が低下する原因となります。）
■電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
■天井直付け、レースウェイ（二種金属製線ぴ）兼用取付です。天井直付けの場合、天井と取付金具との間に隙間が出る場合があります。
■電源投入直後は始動モードで点灯し、約３秒で通常モードに切り替わる機能のため切り替わり時に若干光束が上がる現象が起こります。

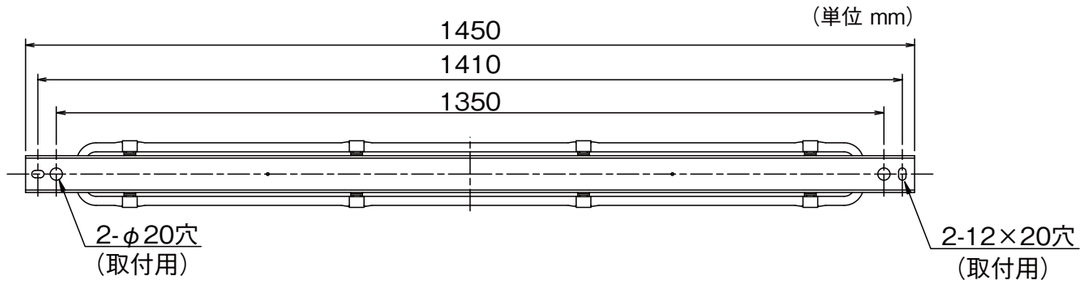
定格電圧	周波数	入力電流	消費電力	LED光源寿命（光束維持率70%時）
AC100 － 242V	50/60Hz	0.52 － 0.21A	52 － 51W	50,000h

各部のなまえと取付けかた

⚠警 告 **器具の取付けは取扱説明書に従い行う**（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）



[取付寸法]



1 取付ボルトを設ける

○左下図の器具背面から見た取付寸法に合った取付ボルトを設ける。
器具質量に十分耐えるよう、取付ボルトの強度を確保する。

⚠警 告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける（落下の原因となります）

2 本体をボルトに取付ける

（1）取付金具にテープで仮止めしてある補強金具を、使用する取付金具の取付穴の位置まで差し込む。

（2）取付ボルトに座金とナットで確実に取付ける。

ナットは１０N・m以上のトルクで締付けないでください。
取付金具の変形の原因となります。

※レースウェイ（二種金属製線び）に取付ける場合は、補強金具を使用しないでください。

⚠警 告
取付けが不完全な場合落下の原因となります

3 電源線を接続する

電源線と口出線を確実に接続する。

○口出線長さは、電源ブッシュ穴より器具外約０．５m です。

○高電位側は器具側の黒線と、低電位側は白線と合わせて圧着接続子などで確実に接続する。

○電源線の接続部は、自己融着絶縁テープなど、防水性のある絶縁被覆処理を確実に施す事。

○アース線を接地端子に圧着する。

＜Ｄ種（第３種）接地工事が必要です。＞

⚠警 告
接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因となります

⚠警 告
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う
（アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因となります）

⚠警 告
接続部の防水処理が不完全な場合、絶縁不良による漏電、感電の原因となります